

令和5年度鳥取県営病院事業会計当初予算説明資料

1 款 資本的支出

1 項 建設改良費

3 目 資産購入費

病院局総務課(内線:7885)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	計	財源内訳				備考
				補助金	起債	繰入金	その他	
(新)中央病院デジタル式循環器用X線透視診断装置整備事業	141,900	0	141,900		141,900		(内部留保資金) 0	

事業内容の説明

1 事業概要

中央病院にデジタル式循環器用X線透視診断装置を整備し、医療機能の向上を図る。

2 事業内容

(1) 目的・効果

中央病院は、東部圏域における高度急性期医療を担い、救命救急の専門医を確保し3次救急の機能強化(24時間体制)を図ってきたほか、東部圏域で唯一の心臓病センター及び一次脳卒中センターを整備し、24時間体制で心臓・脳に対する血管造影、血管内治療を行っている。

高齢患者の増加に伴い心疾患等の増加が見込まれる中で、患者にとって負担が少なく、入院日数も短縮できるカテーテル治療の役割は高まっており、当該治療に必要な不可欠な高機能X線診断装置を整備することで、医療機能の向上を図る。

(2) 予算額

141,900千円

(単位:千円)

整備費	消費税等	事業費	財源	
			企業債	内部留保
129,000	12,900	141,900	141,900	0

3 事業目標・取組状況・改善点

現有のX線透視診断装置は、既に撮影した検査画像(CTやMRI)を用いて3Dナビゲーション(血管の画像をCTやMRIの画像と重ねて表示することでワイヤーやカテーテルの進路を分かりやすく示すこと)を行う機能がなく再度同時に検査撮影する必要があるため、長時間被ばくなど患者及び術者スタッフに過度の負担となっているほか、治療に必要な微小血管の描出が鮮明でなく、血管の止血等の治療に時間を要している。

新しく整備するX線透視診断装置は、当該機能を有しており、高画質、かつ、繊細な血管にも対応可能な超高精細透視が可能であり、患者等への負担軽減や、診療機能の向上が図られる。

令和5年度鳥取県営病院事業会計当初予算説明資料

1 款 資本的支出

1 項 建設改良費

3 目 資産購入費

病院局総務課(内線:7885)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	計	財源内訳				備考
				補助金	起債	繰入金	その他	
(新)中央病院放射線機器(スペクトラルCT)整備事業	183,700	0	183,700		183,700		(内部留保資金) 0	

事業内容の説明

1 事業概要

中央病院に放射線機器(スペクトラルCT)を整備し、救命救急医療の向上と機能充実を図る。

2 事業内容

(1) 目的・効果

救急科専門医の増員その他救命救急医療体制の充実に伴う救急患者の急増に対応するため、中央病院に設置するCT装置1台の更新に当たり、高性能の放射線機器(スペクトラルCT)を整備することで、診断機能の向上を図る。

(2) 予算額

183,700千円

(単位:千円)

整備費	消費税等	事業費	財源	
			企業債	内部留保
167,000	16,700	183,700	183,700	0

3 事業目標・取組状況・改善点

中央病院に設置のCT装置2台のうち平成24年度に取得した全身用マルチスライスCT装置(64列)1台は、老朽化により故障が頻発して円滑な診療に支障が出かねず、機器の更新が必要となっている。

新しく整備するCT装置は、機器の機能向上により、患者への被ばく量等の低減が見込まれ、データ解析を用いた詳細な画像等による診断機能の向上が図られる。

※スペクトラルCTは、CT(コンピュータ断層診断装置)の中でも、X線エネルギーの異なる2つのデータを収集することができる機能を有し、それぞれから得られたデータを解析することにより、コントラストを改善させた画像や特定の造影剤を強調した画像などを取得することができる機器である。従来は追加の撮影が必要であった症例においても、1度の撮影で様々な解析画像を得ることが可能。